

成長へもつと努力必要

ソフトボール男子の世界選手権（昨年6月）で日本の準優勝に貢献した平林金属ク（岡山市）の宇根良祐（24）が、本場ニュージーランドで3カ月間の武者修行を終えて帰国した。「ワンランク上のプレーヤーになるために、もっと努力するべきだと自覚した」。天才肌で知られる遊撃手は、今後につながる大きな経験を積んだ。

NZでの武者修行から帰国

ソフト男子 宇根 平林金属ク

から合流し、国内リーグをに足りないものにも気付いた。中心に約30試合に出場した。環太平洋大OBは沖縄・た。日本では珍しい球速1読谷高2年で競技を始め、わ30キロ超の投手も多いハイずか1年で年代別日本代表。レベルな世界。日本代表と、そのセンスは折り紙付きだ同じ「1番遊撃」で打率3割以上を残し、アクロバテミスを引きずらない選手の切イックな守備も評価されたり替えの早さに驚き、打ち損が、剛球を軽々とほじぎ返す打者のパワーに圧倒され

本場のパワー、精神面刺激に

「能力に頼りっぱなしの今の自分じゃ駄目」と自身

「ソフトボール大国で濃密な時間を過ごし、意識は高くな

ニュージーランドでの武者修行を終え、今季の抱負を語る宇根良祐＝HIRAKINライズ球場

